



派遣隊員の留守家族支援に関する協定 3/10

町と陸上自衛隊静内駐屯地は、大規模災害などで駐屯地の隊員が派遣された際、町が隊員の留守家族を支援する協定を結びました。

協定では、留守家族に対し、託児サポート制度の利用仲介や医療相談受け付けなど5項目について、町が支援します。役場静内庁舎での調印式で、酒井町長は「隊員のサポートになればうれしい」と話し、江頭豊一・同駐屯地司令は「支援のおかげで、安心して任務に当たれる」と感謝を述べました。



北海道善行賞伝達 3/6

長年、町交通安全協会会員として、交通安全活動を続けている觸澤芳幸さん（三石西蓬萊）が、北海道善行賞を受賞し、酒井町長から表彰状が伝達されました。

觸澤さんは、平成2年4月から現在までの23年の長きにわたり、同協会に所属し、代議員、理事を歴任。四半期ごとの交通安全運動をはじめ、早朝、夜間の街頭啓発など、率先して地域の交通安全啓発や交通事故防止に尽力されています。



第8回公民館まつり 3/2

『第8回新ひだか町公民館まつり』が同館で開かれ、町内で活動する約50サークルによる作品展示やステージ発表、体験会などが行われました。

町女性団体連絡協議会の協力で行われる、恒例のジャンボ桜ずし作りには約320人が参加。ピンク色に染められた酢飯に、シイタケや紅しょうがなどを載せ「せーの」のかけ声で一斉に巻きました。最後に約70メートルの巻きずしを全員で持ち上げ、完成を喜びました。

ニュースフラッシュ

まちのできごと、話題をお届けします。



青少年健全育成の集い 3/16

町青少年健全育成運動推進協議会（渡辺隆会長）による『新ひだか町青少年健全育成の集い』が町公民館で開かれ、約40人が参加しました。

白老町で子育てふれあいセンターの管理運営をしているNPO法人「お助けネット」の中谷通恵代表が、子育てのコツや子どもとメディアの関係について講演しました。中谷代表は「子育ては子どもを自立させること。10歳までに自己肯定感を育むことが大事」と話し、参加者は熱心に耳を傾けました。



第2回新ひだか町観光フォトコンテスト 3/7

『第2回新ひだか町観光フォトコンテスト』の入賞作品表彰式が静内庁舎で開かれました。

コンテストは全国公募で実施し、「新ひだかの魅力が伝わる写真」をテーマに募集。道内外47人・150点の応募の中から最優秀賞1点、優秀賞8点、入選8点、佳作3点が選ばれました。

表彰式には、最優秀賞に選ばれた木村実さんと優秀賞の5人が出席。実行委員長の酒井町長から一人一人に表彰状や賞金、副賞が手渡されました。



ソフトテニス全国大会出場挨拶 3/3

ソフトテニスの全国大会に出場を決めた3人が役場静内庁舎を訪れ、酒井町長に健闘を誓いました。

選手は、3年連続で全国大会に出場を決めた松尾海音くん（高静小5年）、原颯哉くん（東静内小5年）のペアと、對馬綾華さん（静内三中2年）。3人は「悔いが残らないよう、今まで練習してきたことを出し切りたい」と抱負を述べ、酒井町長は「体調を整え、活躍してきて」と激励しました。



第17回北海道子どもかるた大会 2/23

札幌市で開かれた『北海道子どもかるた大会』の中学生の部で、三石蓬萊子供かるたクラブに所属する「三石蓬萊の富士」が初の準優勝に輝き、「三石蓬萊の桜花」も3位に入賞しました。また、小学生の部でも「三石蓬萊の大和」が3位、「三石蓬萊の嵐」がベスト8進出と健闘し、同クラブ関係者は好成績を喜びました。

大会は、各地区の予選を勝ち抜いた64チームが出場。3人一組でトーナメント方式で競い合いました。



コレクター展 3/2・9

特撮映画のフィギュアや昔のテレビゲーム機など、町民が趣味で集めた自慢の品を公開する『コレクター展』が町福祉センターと町公民館で開かれ、来場者の目を楽しませました。



静内高校校外展 3/6~7

静内高校の美術部と書道部による『校外展』が町公民館で開かれました。部員35人の個性豊かな作品65点が展示され、来場者の目を楽しませました。



犬との暮らし方講座 2/16

町主催の『犬との暮らし方講座』がピュアプラザで開かれました。参加者は、講座を通し、犬の習性や日高管内の捨て犬の状況、狂犬病についてなどを学びました。



ソフトバレーフェスタ 2/16

『第9回新ひだか町ソフトバレーフェスタ』が三石スポーツセンターで開かれ、小学生の部8チーム、混成の部24チームが出場し、熱戦が繰り広げられました。